



RYOBI GROUP
発行
両備ホールディングス株式会社



RYOBI GROUP WEB



この冊子は石灰石から生まれた新素材LIMEXでつくられており、水資源の利用を抑えています

1冊あたり約12L削減
LIMEXを使用することで、従来の印刷物と比較して、製造時の水使用量を(約97.7%)削減しています。
※一般的なコート紙(90kg)製冊子と比較

RYOBI GROUP

サステナビリティレポート 2024



両備グループのサステナビリティの取り組み

両備グループは、お客様と地域に支えていただき、2025年で創業115年目を迎えます。

次の100年もお客様の生活、地域のお役に立てる企業を目指して、環境や経済に配慮した活動を行なうことで

社会全体を長期的に持続させていこうという“サステナビリティ”の考え方により、

次代につながり次代を創る事業を展開しています。

このサステナビリティレポート2024では、両備グループの経営テーマである「安全・安心・エコで健康」に照らして、

両備グループのサステナビリティの取り組みをご紹介します。

両備グループのGHG (Green House Gas = 温室効果ガス)削減目標

両備グループは2030年度までに、2013年度比(※1)でScope1・2(※2)のGHG排出量 **38%** の削減を目指します。

この目標は、両備グループの事業ポートフォリオと日本の産業部門別NDC(※3)に基づき、日本の2050年のカーボンニュートラル達成のロードマップに準拠しています。
2023年度時点で、グループのGHG排出量の約80%は交通運輸部門によるものであり、この部門ではNDCの35%削減目標よりも高い、39%の削減目標を設定することで、地域の脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 基準年度2013年度に会社が存在しない等、取得が出来ない会社については、2014年度以降で取得可能な過去年度を基準として設定しています。
※2 Scope1…燃料の燃焼や製品の製造などを通じて、企業・組織が直接排出するGHG
Scope2…他社から供給された電気・熱・蒸気を使うことで、間接的に排出されるGHG
※3 NDC(国が決定する貢献)とは、パリ協定に基づいて日本が作成・通達・維持しなければならない温室効果ガスの排出削減目標等です。各国で2050年のカーボンニュートラル達成に向けたNDCが設定されています。

安全・安心・エコで健康

安全・安心

8 働きがいも
経済成長も



地方創生
観光発展
地域の未来

11 住み続けられる
まちづくりを



まちづくり
公共交通
安全安心
文化保全

エコ

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



EV化
再生可能エネルギー
エネルギー
マネジメント

13 気候変動に
具体的な対策を



脱炭素
エコ意識の醸成
災害対策

健康

3 すべての人に
健康と福祉を



健康と福祉
高齢者支援
子育て支援
感染症対策

5 ジェンダー平等を
実現しよう



女性活躍社会
ダイバーシティ
人財養成

TOPICS

8 03 「WONDERFUL SETOUCHI」な取り組み
05 食・仕事・子どもの未来への取り組み

11 07 「Life is Wonderful!」なまちづくり
09 使いたくなる公共交通
10 地域公共交通を守る
11 見て、乗って、歩いて楽しいまちづくり
12 安全・安心の徹底
地域の文化を守り、育てる

7 13 EV化：蓄エネ・活エネ
14 再生可能エネルギー&エネルギーマネジメント

13 15 地球にやさしく
16 「もしものときの」まちづくり

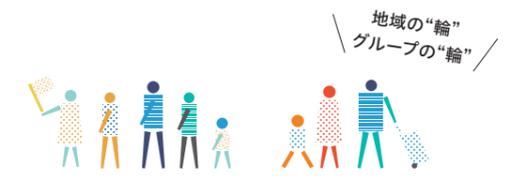
3 17 地域のしあわせ
18 健康な生活を応援

5 19 女性活躍
20 安心して働ける環境づくり



「WONDERFUL SETOUCHI」な取り組み

地方創生・観光事業発展のため地域の魅力づくりに挑むプロジェクト。観光冊子、タクシー、バス、イベント出展など岡山・瀬戸内の魅力を発信する場を拡大。



地域とともに元気に！ 地方創生プロジェクト「WONDERFUL SETOUCHI」

観光事業発展のため地域の魅力づくりに挑む企画。瀬戸内地方の魅力を発信すべく、本年創刊10周年を迎える観光フリーマガジン「WONDERFUL SETOUCHI (ワンダフルセトウチ)」の発刊や、「ワンセットタクシー」「ワンセットバス」「ワンセットトラック」などデザイン車両の運行、自治体と共に世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」に出展するなど、岡山・瀬戸内を訴求する場を拡大してきました。



瀬戸内の魅力を乗せて走る！ ワンダフルセトウチ車両(タクシー・バス・トラック)

岡山・瀬戸内をPRしたラッピングを施し、バス車内ではデニム生地のできたシートを採用。岡山の魅力を発信しながら走るメディアとしてタクシー、バス、トラックをデザインし運行。2024年6月には創刊10周年記念タクシーも走行開始しました。

WONDERFUL SETOUCHI TAXI



瀬戸内海国立公園を守る 認知度向上冊子「瀬戸内Story」

人々の暮らしと自然が共存する「瀬戸内海国立公園」の認知度向上と意識醸成、また来訪につなげることを目的とした冊子「瀬戸内Story」の制作を環境省より請負業務として企画・制作。冊子制作と連動して「WONDERFUL SETOUCHI」にも紹介記事を掲載し、瀬戸内海国立公園および関わる人の魅力を伝えています。



WONDERFUL SETOUCHI BUS



WONDERFUL SETOUCHI TRUCK



岡山の黄色い魅力 YELLOW SPECIALITY

「WONDERFUL SETOUCHI」から派生したタクシー企画。「岡山の黄色い魅力的なもの」と「黄色いタクシー」でおなじみの岡山交通によるコラボシリーズ「YELLOW SPECIALITY(イエロースペシャルティ)」を2020年から順次運行開始。「生き生き」と走るタクシーが岡山のまちに元気をお届けしています。



地域の“輪”を背負う！ 「グループワッショイサポート部」創設

地方創生プロジェクトを本格稼働するにあたり、資金拠出組織として「両備ワッショイ創生1%クラブ」とその実働部隊「グループワッショイサポート部」を2015年7月に創設。全国に例のない、民間企業が手がける地方創生手法を確立することで、岡山の地域魅力度ランキングを10位以内にアップさせることを目標に掲げ、地域が元気になるよう活動をしています。

事例01 「新見御殿町フェスタ」

ノートルダム清心女子大学の学生さんの“新見市の魅力をPRしたい！”という想いに、グループワッショイサポート部が協力して地域を元気にするイベントを2022年に開催。当日は学生さんがスタッフとなり、新見市のさまざまな魅力を楽しめる企画を展開しました。



事例02

「WONDERFUL SETOUCHI FES(ワンダフルセトウチフェス)」両備グループの「WONDERFUL SETOUCHI」に込めた地方創生への思いに共感いただき、ともに瀬戸内を盛り上げようと一緒に歩いてくださった自治体の皆様と、瀬戸内の魅力満載の10周年記念イベント「WONDERFUL SETOUCHI FES」を開催しました。(2024年)



小豆島を応援 小豆島誘客をめざし「ちようど島プロジェクト」始動

両備グループは航路を持つ縁で、「瀬戸内海を世界の観光地へ！」と誘客活動を続けていますが、その中心は両備フェリーユニットが3航路をもつ小豆島です。2024年「観光にちようどいい島=小豆島」をテーマにさまざまな企画を展開する「ちようど島プロジェクト」が始動しました。両備グループが運営する小豆島オーキッドホテルを中心に瀬戸内の魅力発信を強化していきます。



小豆島オーキッドホテルの島湯(しまゆ)

小豆島オーキッドホテルの島湯は、観光客の皆様と島民の皆様との温泉を通じた新感覚の社交場、コミュニケーションの場として、世界で活躍されている建築家長坂常氏監修のもと誕生しました。





食・仕事・子どもの未来への取り組み

地域とともに、地域の未来を創ります。地域の食材や産品を様々なかたちで広めたり、多様性のある人間らしい働き方ができるツールやスペースを創ります。

未来の食 水耕栽培野菜「Ortolano」

自社の植物工場ではLEDを使って生産する野菜ブランド「Ortolano(オルトラノ)」。種蒔きから収穫まで野菜たちの声に耳を傾けながら、農業を使わずに衛生管理された室内で育てるオルトラノの野菜は、洗わずに食べられることも特長です。野菜本来の個性を大切に誰もが夢中になるような魅力に満ちた野菜をお届けしています。時期に関係なくいつも美味しく食べられる贅沢なサラダは進物用にも人気。味が濃く、多様な葉野菜の特徴もしっかりと持っており、航空機内食のファーストクラスにも採用されています。



家庭の味を店頭へ 教えて!あなたのおかやま味コンテスト

2022年から毎年実施しているコンテスト。グランプリ・準グランプリの作品は両備ストアのお惣菜として商品化され、ご家庭の味、思い出の味が店頭にも並びます。岡山の人が輝ける場所を創ることを目的とした取り組みです。



瀬戸内の逸品を全国にお届け たまルンモール

瀬戸内の逸品を取り揃えて販売するだけでなく瀬戸内の物産と情報を発信し、瀬戸内の魅力を多くの方に伝えることも目的としているモール型のECサイトです。インタビュー記事などで出店者様の想いや商品価値を正しく伝えることで、商品のブランディングを保ち、フェアトレードが可能になります。その結果、地域事業者様を守ることもつながると考えています。



地産地消を拡大! 両備ストア-地元生産者とコラボ-

地元の新鮮野菜を生産する農業サービス会社や地元生産者とのコラボを推進。店舗での販売、ファーマーズマーケットでのイベント販売に加え、ファーム体験等へも取り組みを拡大しています。その他、県内から毎日届く新鮮な産地直送野菜や備前黒毛和牛・奈義和牛、おかやま味のお弁当や総菜、オリジナル焼き菓子ブランド「グレースパーラー」など、岡山の魅力が感じられる食を発信しています。



森のマルシェ グレース店

子どものための水 島根の美味しい天然水「enamis」

島根県金城町の地下300mの水脈から優れた成分をそのまま汲み上げた原水は環境汚染を受けておらず、加熱殺菌も行っていない、日本では数少ない貴重な天然水です。赤ちゃんにも安全・安心な希少ミネラル含有のアルカリイオンで、美容や健康にも良い命がよるこぶ両備オリジナルブランド水「enamis(エナミス)」として、両備エネシスが宅配ウォーターサーバーや500mlペットボトルで販売しています。



地域の働き方・サービスの未来 自治体向けシステム

公開羅針盤
これまで貯めてきたデータを知識やノウハウとして共有できる、自治体の運用に特化した自治体専用グループウェアです。組織の動きを見える化し、意識しなくても情報が共有できる環境をサポートします。多彩な機能により、コミュニケーションの活性化、場所を問わない働き方、LGWANを利用したセキュアなクラウド環境でのシステム利用等、さまざまな課題を解決。マルチデバイスに対応しており、タブレット端末でも操作できるため、組織に合った働き方改革提案ができます。



ITを活用した働き方改革
ICT支援員、教育アウトソーシング、R-Cloud LGWAN接続サービスなど、ITリテラシーの底上げを進めるとともに、情報財産を守っており、リモートワークでも安心して働けます。



人手不足解消 トランスポートユニットの取り組み

物流業界では、将来的な人手不足の懸念が深刻な課題となっています。これからも変わらぬ経済成長を続けていくためにトランスポートユニットでは2028年までに次の2つの対応を行なってまいります。
①倉庫における自動化設備を5台以上導入し、省人化を図る
②運送協力会社の取引数を2023年12月比で5%増加させる

子育て支援 「こどもの杜」

公共部門、医療部門、教育部門など、両備システムズにおける子育て関連のノウハウを集約させた、子育て関連データ連携プラットフォームです。自治体、医療機関、保育園・幼稚園、学校、児童相談所、その他子育て関連施設より必要な情報を集約させ、フォローが必要な家庭・子どもを早期発見し、プッシュ型の支援を実施できるようなサービスを実現します。なお、2025年までに全国30団体への導入を目指しています。



障がい者への社会貢献 両備ウェルネス

障がい者雇用を目的とした新会社
両備グループの特徴である多業種事業者として、各種業務の確保、業務環境の整備および多様な雇用形態への柔軟な対応を確立させ、障がい者雇用の促進及び活躍を推進し、社会的に問題となっている障がい雇用における定着率の向上を図れるシステムづくり、環境づくりを目指しています。2023年3月31日に特例子会社に認定されました。



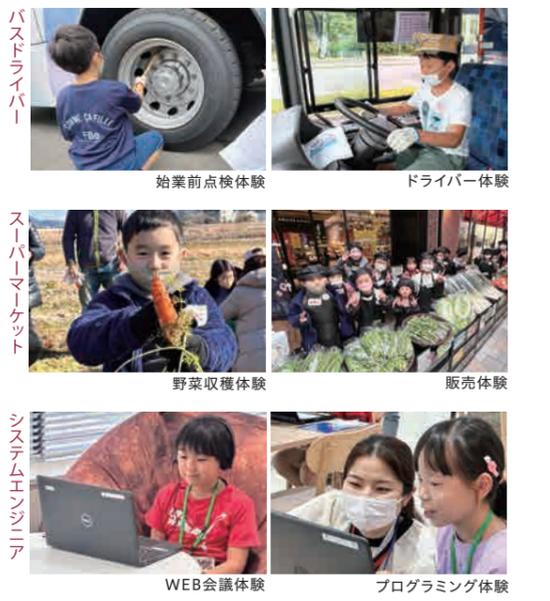
可能性は無限大! コワーキングスペース「TOGI TOGI」

岡山県下最大級の約500㎡の coworking space「TOGI TOGI(トギトギ)」。24時間365日利用可能なメインスペースはプールをリノベーションした開放的な空間。カフェのようなカウンターテーブルや、窓際のロッキングチェア、お客様との打ち合わせもできるソファスペース、WEB会議に最適な個室ブースなど、その日の気分で働き方、利用の仕方は無限大です。オフィスをシェアすることで、コストが抑えられ、また新たな人脈によるビジネスチャンスが生まれる魅力があります。



子どもたちは地域の未来です! 子ども向け体験

りょうびキッズカンパニー
子どもたちに、普段では見られない、できない特別な体験をしてほしい。夢を持って働くプロの姿を間近で見てほしい。子どもの時に抱いた強いあこがれは、大人になっても残り続け、時にパワーの源になる。そんな記憶を創りたいという想いから生まれたプロジェクト。幅広い業種をもつ両備グループだからできる、さまざまな「本物」に触れるワクワク体験を提供するお仕事体験イベントです。「バスドライバーのお仕事を「ガチ」体験!」「収穫から販売まで!スーパーマーケットのお仕事を「ガチ」体験!」「両備システムズのお仕事を「ガチ」体験」など、岡山の未来を担う子どもたちが、さまざまな仕事に触れ、将来の夢を持つきっかけになってほしい!と取り組んでいます。



バスドライバー

スーパーマーケット

システムエンジニア

始業前点検体験

ドライバー体験

野菜収穫体験

販売体験

WEB会議体験

プログラミング体験

「Life is Wonderful!」なまちづくり

目指したのは、住む人、働く人、訪れる人がとびぎり幸せである街。
日本中から、世界中から足を運びたいくなる街。

理想のまちを実現 杜の街グレースの開発

首都圏への一極集中と地方の衰退が顕著である中、地方の豊かさを体現した街づくりを岡山・瀬戸内で行ない、もっと地域を盛り上げたいという考えから岡山市内(岡山駅南徒歩10分)の3.8haの街区の開発をスタート。これからの街に不可欠な「グリーンとの共生」を軸に「ウェルビーイング」「瀬戸内の食と芸術」をテーマにした、「杜」と共に成長する街「杜の街」づくりプロジェクトです。グリーン、住居、職場、食、健康、医療、スパ、ビューティー、スポーツ、アートなどを一貫して享受することができる究極のコンパクトシティとして、レジデンス、オフィス、商業ヘルスケアの3施設棟1.7haが第1期開発区として2022年に完成しました。



撮影：ナカサ&パートナーズ

アートで盛り上げる 杜の街グレース 杜の街プラザ パブリックアートラウンジ

とりわけアートには力を入れており、杜の街グレースの商業・ヘルスケア施設棟「杜の街プラザ」にパブリックアートラウンジを設けました。今後の活躍が期待される若手アーティストを領域横断的に紹介し人々を結びつける場にこのアートラウンジを位置付けています。瀬戸内で活躍するアーティストを発掘し、国内外に向けて広く発信することで地域の芸術文化を育むこともアートラウンジの役割としています。アートに特化したパブリックスペースとして、住まい・職場・商業・ヘルスケア施設が集まる街の特性を活かしながら、アートが地域の生活へゆるやかににじみ出ていくような空間デザインにしました。



食の豊かさを発信 杜の街グレース WONSETO FOODHALL

瀬戸内の美味しいがっつまったフードホール
集い、つながり、街(杜の街グレース)のコミュニケーションの核となるフードホールを創りたいという強い思いに賛同した岡山・瀬戸内の食を代表するお店が集まってできた「WONSETO FOODHALL(ワンセットフードホール)」。

岡山・瀬戸内の食の未来への希望を育むフードホールに相応しい、街や建築との親和性を大切に、瀬戸内らしく開放的で明るいリラックス空間の中に洗練されたデザインや先進的なアートを掛け合わせた他に類を見ないインテリアデザインとなっています。特に瀬戸内の穏やかで美しい波動を想起させる約70m続く美しい波形グラデーションの天井デザインは特長的です。空間的仕掛けのひとつとして建物の中央付近に階段状の丘を設置したことで、食事はもちろん、パーティーやウェディングなどにもご利用いただける賑わいの場となりました。



地域の賑わい創出 杜の街グレースを拠点にした様々なイベント

杜の街グレースでは、岡山のにぎわい創出、地方創生への取り組みとして、さまざまなイベントを開催しています。地域の皆様、美味しいものやこだわりのもの、日ごろの成果をアピールする場としても機能しています。



健康を軸にしたカフェテリア 杜の街ピクニックテラス

杜の街グレース 日清食品監修・完全メシのカフェテリア
杜の街グレースオフィススクエアに併設した誰もが使える社員食堂です。日清食品(株)が開発を進める最新の分子栄養学に基づく「おいしい完全メシ」を提供しています。緑豊かな屋外にピクニックに出かけたような開放感が味わえるインテリアで精神的にもリラックスでき、心身ともに健康になれるカフェテリアです。



潤いにあふれた空間づくり 杜の街グレース 緑化の推進

杜の街グレース 緑あふれる空間づくり
杜の街グレースは街全体を緑化し、緑の潤いにあふれた空間づくりを推進しています。高木から低木まで1千種類2万株の草木からなるガーデンが、住む人、働く人、訪れる人を迎えます。緑化1㎡で年間約1.6kgのCO2を吸収。それは乗用車1台が6km走った際に排出するCO2排出量に相当します。四季の訪れを感じながら過ごす家族の時間。木立の中を爽やかに吹き抜ける風を感じる、心穏やかに過ごすことができる夕暮れ。緑と共に成長する街、杜の街グレースです。



Well-Beingであること RR Conditioning & SPA (ダブルアール・コンディショニング&スパ)

杜の街グレースでは、住む人、働く人、訪れる人、さまざまな世代の方に心身ともにWell-Beingなライフスタイルを提案しようと「免疫力・治癒力を高め、10年先も健康な心と体をつくる」をコンセプトに、コンディショニングジム、天然温泉スパ&サウナ、岩盤浴、リカバリー(施術)、フィットネス、ゴルフラウンジ、リラクゼーション、メンバーラウンジを備えた総合ウェルネスクラブ「RR Conditioning & SPA(ダブルアール・コンディショニング&スパ)」を2023年に開設しました。国内有数のパートナーとともに創りあげた上質なウェルネスサービスを実現しています。



もしもの時も① 杜の街グレース エコロジーでセキュアなオフィス棟「オフィススクエア」

災害時に強いサポート体制
オフィス全エリアに最大72時間電力を供給する非常用発電機を設置。地下には巨大な雨水貯水槽を設置して300tの雨水を確保し、植栽の散水用の水源として利用します。屋上には太陽光発電を設け、オフィスへの一次側電力供給を行ないます。

非常時発電機
停電等の方が一の事態に備え、非常用発電機(最大72時間)を設置し、給水ポンプや排煙機、共用部コンセントなどへ電気を供給します。

受変電設備の浸水対応 受変電設備は浸水対策のためガレージ棟2棟に設置しています。

雨水貯水槽 地下に約300tの雨水貯水槽を設置し、通常時には植栽の散水に利用します。

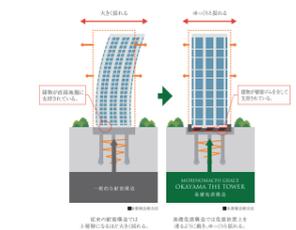
太陽光発電システム
共用部の空調機に電力を供給します。



もしもの時も② 杜の街グレース 岡山ザ・タワー

エコロジーへの取り組み
屋上緑化を設け、建物の温度上昇抑制や省エネ効果、環境対策にも取り組んでいます。また外壁には可視光を透過しながらも日射熱を反射するため冷房負荷の軽減に効果を発揮するLow-E複層ガラスを使用。Low-E膜は室内の熱エネルギーを逃がしにくくするため暖房負荷も軽減します。

超高層“免震”タワーレジデンス
岡山県内最高層、最大級戸数のレジデンス「岡山ザ・タワー」は最先端のテクノロジーを駆使した基礎免震構造採用で永住するにふさわしい高品質の住まいを提供します。





使いたくなる公共交通

公共交通を持続可能にするためにサービスのあり姿を追求します。

公共交通事業の再起 宇宙一面白い公共交通を目指すプロジェクト

バス事業存続の正念場と捉え、「宇宙一面白い公共交通」を目指して、2022年1月からプロジェクトがスタート。第1フェーズとしてバスに乗りたくなる仕掛けを施し、1年間にわたる長期利用促進キャンペーンを実施しました。引き続き、バス事業をサービス業として見つめなおし、お客様の声を聞きながら、赤字続きの公共交通事業の再起を懸けた挑戦を続けます。



面白いバスで宇宙へ



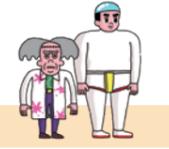
涼備バス

沿道環境向上 パーク&バスライド

パーク・アンド・バスライドは、マイカーからバスに乗り換えてもらうことにより、渋滞の緩和や排ガスによる大気汚染抑制など沿道環境の向上が期待できるシステムです。岡山市が運用する同システムに、両備バスと岡電バスが協力して利用促進を図ります。

人とモノの流れを守る 宇宙一本気(マジ)な乗務社員採用プロジェクト

交通運輸業界は乗務担当社員不足がますます深刻になり、今や人やモノの流れを止めてしまう可能性のある程の深刻な社会課題となっています。そこで両備グループでは、バス、トランスポート、タクシー、フェリー、鉄軌道の各ユニットが一丸となり、乗務担当社員に特化した採用活動を実施しています。乗務担当社員の確保により、日常を止めない。交流を止めない。モノの流れを止めない。ひいては、暮らし、経済、社会を守ることに繋がっていきます。200人の採用を目標としたシーズン1では、結果216人の乗務担当社員が誕生しました。



到着時刻の見える化 Bus-Vision

「Bus-Vision(バスビジョン)」はバスや路面電車の遅れなど運行状況や現在位置のほか、目的地への到着予定時刻をリアルタイムに提供するシステムです。お客様はスマホ1つでそれらの情報を確認できます。公共交通での移動をより快適に、便利にするサービスです。

Bus-Vision



地域公共交通を守る

すべての人が所定の運賃で自由に移動することができる手段として、公共交通を持続可能性を高めます。



公共交通の課題を解決 地公研の取り組み

地域公共交通の再生実績と知見を活かし、市民生活を支える地域公共交通の再生と維持・発展の一助となることを目的として2013年4月に一般財団法人地域公共交通総合研究所(地公研)を設立。以来、地方が抱える公共交通の課題を民間交通事業者ならではの視点で支援し、地域公共交通の維持・存続の道筋を示しています。

地域と連携 地元大学との取り組み

地公研は岡山大学法科大学院と、地域公共交通をどう守るかなどの法的課題の研究連携に関する協定を2014年3月に締結。また、環太平洋大学と、地域公共交通の人財教育に関する連携協定を2021年2月に締結しました。

公共交通再生 廃線危機にあった和歌山電鉄をアイデアで救済

和歌山電鉄貴志川線の貴志駅に「たま駅長」を誕生させる等のアイデアで、ローカル線の集客、公共交通再生に貢献。2012年2月に学芸出版社より出版された両備グループの代表兼CEOである小嶋光信の初の著作本「日本のローカル線をつくる たま駅長に学ぶ公共交通再生」にて、地方が抱える課題を分かりやすく伝えています。

和歌山電鉄「キシカイセイブプロジェクト」

将来廃線の危機に陥らないようにと願い、路線名(貴志川線)の「貴志」と「起死」を掛けたネーミングの「キシカイセイブプロジェクト」を2019年8月に発表。和歌山市と紀の川市を結ぶ公共交通である貴志川線の安定的な永続運行を目指しています。



猫の駅長と公共交通再生!





見て、乗って、歩いて楽しいまちづくり

岡山の街なかに「チャギントン」の世界を創りました。
電車に向かって子どもたちが笑顔で手を振ってくれる楽しいまちづくりです。

まちを元気に 路面電車「おかでんチャギントン電車」

2019年3月から運行している、人気の鉄道アニメ「チャギントン」に登場するキャラクター「ウィルソン」と「ブルースター」が実車化された都市型エンターテイメント観光電車です。単なる移動手段ではなく見て乗って楽しい乗り物を創ることで、街を元気にしたいという思いをのせて創りました。



路面電車の利用促進 おかでんミュージアム

超低床路面電車「MOMO(モモ)」の貴重な模型展示、DVD放映、プラレールや木のプールなど、大人も子どもも楽しめる施設として岡山電気軌道の工場の一 corner をリノベーションし、2016年にグランドオープンしました。定期券や路面電車1日券などの提示で入館料が半額になるなど、路面電車利用促進にもつなげています。



乗って楽しい船 旅客フェリー「おりんぴあどりーむ せと」

新岡山港～小豆島土庄港の定期航路を運航する、瀬戸内海のクルージングを楽しむクルーズフェリー。展望デッキには、ウィルソン15インチトレインを常設。メリーゴーランドやブランコ、滑り台、ボルダリング、ミニプールを設置するなど、フェリーに乗る楽しみを増やし、移動目的としてだけでなく、乗って楽しむことを目的としたフェリーにしました。また、毎年「海の日」「こどもの日」に普段ご利用機会の少ない小学生を対象に、船への理解を深めていただくことを目的として港や船内を使用したイベントを開催しています。



楽しさ広がる チャギントンデザインの乗り物いろいろ

チャギントンタクシー

チャギントンラッピングを施したタクシー車両を導入。左右のドアとボンネットや車内のシートカバーに、チャギントンのキャラクターがあしらわれています。



路線バス

「おかでんチャギントンバス」バスのボディや車内のシートにもチャギントンのキャラクターをあしらった「おかでんチャギントンバス」を岡山市内の路線バスで運行しています。



チャギントンバス停

バスの待ち時間が楽しくなるチャギントンのバス停も岡山市内に作りました(岡電バス新福・岡山交通本社前バス停)。



体験を提供 岡山電気軌道「路面電車運転体験教室」

毎年夏休みに公共交通の利用機会が少ない小学生を対象に、公共交通への理解を深めていただくことを目的として路面電車を使った運転体験教室を開催しています。



安全・安心の徹底

両備グループは「日本一安全な運輸企業」を目指し、地域の持続可能性に貢献し続けます。

バリアフリーの実現 交通各ユニットの取り組み

誰もが安心してご移動いただけるよう、両備グループの交通各ユニットでは、バリアフリー化やサポート体制の整備に力を入れています。

バスユニット

車いすのお客様、体の不自由なお客様、ベビーカーご利用のお客様が安全・安心にバスをご利用いただけるよう、車内に乗車スペースを設ける、ノンステップバスの運行、乗務社員による乗降サポートなどの取り組みを進めています。また、今後次の2つの取り組みを行います。

- ①2030年度までにバリアフリーに対応した一般路線バスの導入率を100%にする
- ②2025年度までに車いす対応の貸切バスを2台導入する

鉄軌道ユニット

全国に先駆け、段差なしの100%超低床式路面電車「MOMO」を2002年より運行させています。



タクシーユニット

ユニバーサルデザインのタクシーや、車いす貸出サービス、ヘルパー資格を持つドライバーによる移送介助サービスを行なっています。

安全の徹底 「日本一安全な運輸企業」を目指して

両備グループの交通運輸各社は、安全を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指しています。両備グループ安全マネジメント委員会が中心となり、毎年の交通事故発生率を10万kmあたり0.05件以下(タクシーについては、10万kmあたり0.15件以下)とすることを目標とした安全対策や、両備新交通三悪(アルコール検知違反ゼロ・スマホ携帯ルール違反ゼロ・バック事故ゼロ)の撲滅のための全社員教育を実施しています。

さらなるサービス向上へ タクシーユニットの取り組み

タクシーユニットでは、年間クレーム件数を前年比20%削減することを目標に掲げ、定期的な研修を行なうことでお客様満足度の向上を図っています。

地域の文化を守り、育てる

大切な地域の文化を保護し、保ち、育てていく取り組みを強化しています。

ミシュラン一つ星 夢二郷土美術館

竹久夢二が愛した故郷・岡山にある美術館として、日本のベルエポックとも言える時代の「夢二の大正ロマン」の作品(心)を継承しています。夢二郷土美術館本館は「日本のロートレック」と称される竹久夢二の美術館としてミシュランが一つ星に認定した美術館です。



こども学芸員

郷土岡山が生んだマルチアーティスト、竹久夢二の芸術を、子どもたちに郷土の誇りとして受け継いでもらいたいと2011年から始まった任期1年のプログラムです。子どもたちは勉強会を通じて作品鑑賞の仕方や作品の取り扱い、竹久夢二について学び、最終的にはお気に入りの作品を選び、解説文を作成しギャラリートークを開催しています。



質の高い地域社会へ 両備^{でいぶん}裡園記念財団(研究助成)

本財団は真に質の高い地域社会の実現のため、萌芽性、新規性および独創性のある内容をもった生物学分野の研究を奨励し、振興を図り、新産業を創出することを主旨として1972年に設立しました。岡山県下における同分野の学術研究への助成、および、芸術、教育、スポーツ振興および文化財の保護・保存に寄与することを目的としています。





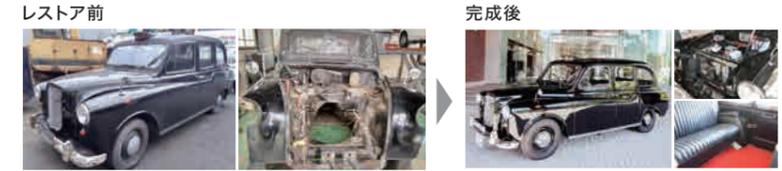
EV化：蓄エネ・活エネ

EV化をはじめとした蓄電池の活用。
安定的エネルギー供給の新しいカタチを考えます。



クラシックカーが蘇る EVロンドンタクシー

レストア+EVコンバージョンで車社会に新たな未来を
両備テクノモビリティカンパニーが1969年製のロンドンタクシーを電気自動車として蘇らせました。レストア（経年劣化した車両を新車同様の状態に復元する技術）と、EV化（既存のエンジン車をベースに電気自動車に改造すること）で、クラシックカーや旧車を持つ無限の可能性を引き出します。“新車に買い替え続ける”から“電気へコンバージョンして古いものを大切に使い続ける”サイクルへの転換を提案。未来の車社会に新たな一石を投じています。



車両のEV化 交通運輸各社の取り組み

バスユニット
中国バスでは、備後圏域初の取り組みとして、ピーワイティージャパン株式会社製の小型電気バス「J6」を導入し、2024年4月から府中市内での運行を開始しています。



トランスポートユニット
両備トランスポートカンパニーでは、脱炭素や大気汚染の課題解決のため、2028年度までに環境配慮型トラックを4台以上導入します。

タクシーユニット
岡山交通は、2023年12月、EVタクシーとして「日産アリア」を中四国で初めて導入しました。岡山交通では、走行中の燃料消費量を抑えるエコドライブの推進を徹底してまいりましたが、さらに2030年に向けてハイブリッド車、アイドリングストップ装置付き車両などの低公害車の計画的な導入を進めています。



環境に優しいEV車 EVリバーストライク

手軽で環境にやさしい小型EV車両を自社開発
市街地での短距離移動、観光地の地域内移動などに使える1~2人乗りの電動小型三輪車です。持続可能な社会実現に貢献するためますます技術開発を進めます。



〈製品特長〉
・費用を最大限まで抑えた、コストパフォーマンス！
・工事不要！自宅の家庭用コンセントで充電可能！
・車検・車庫証明不要
・安心のメーカー保証

環境にやさしい
リチウムイオン
バッテリー搭載

路面電車とバスの融合 新たな乗り物開発に向けた実証実験

路面電車は交通渋滞の影響を受けにくい。ならば既存のレールに路線バスを接続できれば、朝の通勤通学時間帯の運行がよりスムーズになるのではないかと発想で2023年1月に実証実験を実施しました。線路と道路の両方を走ることができる新たなバスの開発実現を模索します。



再生可能エネルギー & エネルギーマネジメント

再生可能エネルギーを使う割合を大きく増やし、
エネルギー効率を高めます。



再エネの早期戦力化 地熱発電施設を取得し運用実験

Sustech社との地熱発電運用に関する共同実証実験
両備ホールディングスは2022年に大分県にあるバイナリー地熱発電施設を取得し、運用に関する実証実験を進めています。地熱発電は太陽光に比べて発電可能エリアが限られる一方、昼夜問わず熱エネルギーを取り出すことが可能なため安定した発電を期待されています。この実証実験は蓄電池利用や電力市場での運用等を想定して推進しているものです。

再生可能エネルギーの戦略的な運用体制の実現に向けてさらなる一歩を踏み出す
今回の地熱発電所取得は、両備グループのカーボンニュートラル化を進め、さらには、市場での売買による収益化を見据えたものです。両備グループはこれにより、再生可能エネルギーの戦略的な運用体制の実現に向けて大きな一歩を踏み出しました。

※購入した発電所は敷地に2基ずつのバイナリー発電施設設置（合計4基）
※取得した発電施設は、経産省認可済（2015年12月）、九州電力とも売電契約締結済（2017年9月）の施設です。

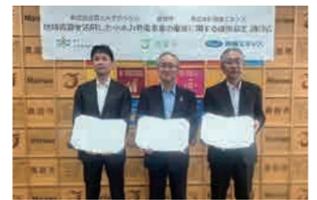


分散型電力運用プラットフォーム「ELIC」について
Sustech社（東京都）が開発する「ELIC」は、再生可能エネルギー（以下、再エネ）を用いた分散型電源の管理・運用を複合支援するエネルギープラットフォームです。発電された再エネを管理し、自家消費や余剰電力の売電、環境価値の市場取引等、様々な形で運用することが可能なため、企業独自のエネルギー戦略に沿って活用できるシステムとなっています。



地域の再エネ化に貢献 小水力発電事業

両備グループは、2023年に株式会社森とみずのちから（奈良県）と協業協定を締結し、岡山県での小水力発電所開発の検討を進めています。2024年5月には、真庭市と小水力発電事業協業に関する協定を締結いたしました。今後も、調査や開発について岡山県の各自治体などと連携し、地域の脱炭素化や活性化に貢献していきたいと考えております。





地球にやさしく

地域とともに気候変動に対する意識を高め、そのスピードをゆめめ、その影響を警戒する、人や組織の能力を高めます。

持続可能な未来へ 脱炭素を軸にした地方創生の取り組み

両備グループでは、グループ全体のCO2排出量を一元管理し、精緻に数値化することでグループの実態を正確に把握し、削減に取り組んでいます。また、グループ内だけでなく、地域事業者様への脱炭素推進支援事業を通して、地域社会全体の脱炭素化を目指しています。今後、創エネ・蓄エネ・活エネ・省エネなど様々な視点での脱炭素の取り組みを強化し、持続可能な地域の発展に貢献します。

粗大ごみ収集をスムーズに Eco伝

粗大ごみ収集受付システム「Eco伝」では、粗大ごみ収集申し込みに対し、電話業務の効率化を図り、収集業務の迅速で的確な対応を支援します。日々蓄積されるデータの集計を行ない、市民サービスの向上を図ると同時に、収集業務の効率化による収集車のCO2排出量の削減にも貢献しています。



地球にやさしい運輸 グリーン経営認証取得

認証機関交通エコロジー・モビリティ財団が作成した「グリーン経営推進マニュアル」に基づく取り組みを行ない、認証を取得しています。

グリーン経営認証制度とは
環境保全を目的にした取り組みを行なっている運輸事業者(トラック、バス、タクシー、旅客船、内航海運、港湾運送、倉庫)に対する認証制度です。



リノベーション促進 まちづくり部門の取り組み

まちづくり部門では、2028年度までに中古住宅・中古マンションなどのリノベーション案件の事業規模を5倍にします。リノベーションは既存の建物を解体せずに工事を行なうため、廃材の発生を大幅に減少させ、資源の無駄遣いを減少させます。古い家をリノベーションして長く住み続けることは、環境保全にもつながります。



ペーパーレス化 グループをあげての取り組み

ペーパーレス化による資源保全の観点から、両備グループのバスユニットとまちづくり部門では、以下の目標を掲げています。

- バスユニット** 2025年度までに貸切バスの受発注におけるペーパーレスを実現して紙使用量を削減する。
- まちづくり部門** 2028年度までに紙購入量を2022年度比10%削減する。(2022年度購入実績:310,658枚)

地域に先駆け 生物多様性への対応

両備グループは、地域に根差した企業として、岡山・瀬戸内エリアの生物多様性の保全を大切なミッションとして考えています。2024年夏には、「スマホでさがそう!おかやまのいきもの」という市民参加型のイベントを実施。このイベントで皆様にご提供いただいた貴重なデータは、地域の生物多様性の保全、持続可能な地球環境へつながります。



節水意識を高める 小学校への「雨水貯水タンク」設置に協力

まちづくりカンパニーは、民間で初めて浸水対策啓発の一環として、2018年9月から岡山市が市内の小学校を対象に行なっている雨水貯水タンク設置に協力。岡山市の小学校2校に毎年雨水貯水タンクを1基ずつ寄贈しています。



導入効果
雨水を活用することで、水の循環の仕組みを理解することにつながり、雨の日が待ち遠しくなったり、水がもったいないという水の大切さや節水の意識を高める効果が期待できます。また、災害や断水時の生活用水としても利用でき、都市型洪水の軽減効果も見込めます。

「もしものときの」まちづくり

災害が起きたとき、立ち直る強靱なしなやかさを持ちます。

災害に備えて連携 両備グループと岡山市が災害発生時協力協定

災害発生時における、次の4項目の協力協定を2014年に岡山市と締結しました。行政と、民間企業グループとのバス・タクシー・フェリー・石油・介護要員等の多岐業務に渡る協定は全国に例をみません。

- 協力内容(一例)**
- ・バス・タクシー・フェリーを利用した避難所等への人員搬送
 - ・フェリーを利用した支援物資等の搬送(カウンターパートナー制を採用している高松市が被災した場合)
 - ・両備グループ運営のサービスステーションにおける一時避難場所の指定及び燃料供給
 - ・大規模災害時の避難所における人的支援(ヘルパー派遣)及び事業所の避難所指定

空からの災害支援 両備グループと早島町がドローンを活用した災害支援協定

災害発生時における支援活動に関する協定を岡山県早島町と2023年に締結。ドローンスクールを運営する両備グループが自社の物流基地も有する早島町に対して、陸と空の両側面から支援協力します。



- 協力内容**
- ・ドローン機材やインストラクターの派遣
 - ・ドローンによる被害者の捜索、救援物資の運搬
 - ・災害発生時におけるトラック等による救援物資の輸送など

災害に強い給油所 震災対応サービスステーションの整備

停電中でも給油ができる
両備エネシスが運営するガソリンスタンドに発電設備や給水設備を備えた災害に強い給油所を増設しています。万一、大規模地震発生時等にライフラインがストップした場合でも、給油や水の供給が可能です。



災害時の情報共有 住民生活総合支援アプリ「i-Blend」

住民の手のひらでつながる行政サービスの新しいカタチ
住民への新たな広報手段として従来のホームページなどのプル型の情報発信ではなく、プッシュ型の積極的な情報配信を行なうアプリサービスです。タイムリーに災害時の情報共有などが可能になります。



災害時のデータ保全 情報の安全を守るデータセンター(Ryobi-IDC)

Ryobi-IDC 災害に強く絶大な信頼を誇るデータセンター

- 災害リスクが低い岡山の立地
- 最新のファシリティ
- 多様なネットワークとハイブリッド構成
- 安定した電力供給
- 厳重なセキュリティ
- フレキシブルなサーバールーム

自然災害が少なく交通の便にも優れた立地条件の良い岡山に、災害に強く絶大な信頼を誇るデータセンターを設置。最新のファシリティ、厳重なセキュリティ、安定した電力供給、フレキシブルなサーバールームを特長としています。多様なネットワークとハイブリッド構成が可能な各種クラウドサービスも取り揃えています。



地域のしあわせ

地域の誰もが笑顔で暮らすことができるサービスを提供します。



しあわせを運ぶ タクシー事業でしあわせを応援

「まごころタクシー便」「おつかいタクシー」で配達

両備タクシーセンターと両備ストアカンパニーがコラボして、お客様に代わって両備ストアで食料品や日用品の買物代行をするサービス「まごころタクシー便」を2010年8月から実施。2020年8月からは両備タクシーセンターがオンラインでつなく買い物代行サービス「おつかいタクシー」もサービス開始。交通手段がない、雨や猛暑などの天候状況で外に出るのが大変…という時や、妊娠中の方や高齢の方、お子さまが小さいなど外出が難しい方には嬉しいサービスです。さまざまなシーンでご利用いただけます。



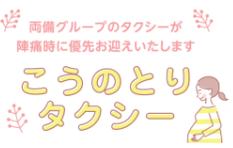
おこさまタクシー

塾や習い事、学童保育など、「お子さまだけでも安心してタクシーにご乗車いただけるサービス」を2015年に開始しました。ドライバーは応急手当普及員または小児普通救命の講習を受けた選任者が担当。働くパパママを応援しています。



こうのとりのタクシー

妊婦の皆様が安心して出産していただくためにタクシーができることを考え、陣痛時の優先お迎えサービスを2013年6月から開始しました。事前登録制なので、慌てず・簡単にタクシーをご利用いただけます。24時間対応なので、早朝・深夜でも安心してご利用いただけます。



タクシーが呼べるアプリ「TAXI.come」

誰もが簡単に両備グループのタクシーが呼べるアプリ「TAXI.come(タクシードットコム)」を2022年11月にリリース。高齢化による交通弱者の増加と交通インフラの撤退・縮小が進む地方の特性を鑑み、高齢者をはじめ誰もが住みやすいまちづくりを実現するため、地域の実情に合わせてカスタマイズできる地域密着型の独自アプリです。

お年寄りのしあわせ 両備ヘルシーケア

複合型介護施設、エイジフリーマンション、介護付有料老人ホーム、ショートステイとデイサービス、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスなどさまざまなサービスを展開。高齢者の生活支援や社会的な結束の促進、専門的なケアとサービスの提供、家族の支援など、高齢者の福祉と幸福感の向上に貢献しています。



子どものしあわせ 児童虐待等事件の防止

児童相談システム

2020年10月から両備システムズが市区町村と児童相談所向けに児童虐待等事件の未然防止を目的に「児童相談システム」の提供を開始しました。他システムとの接続で情報連携を実現。厚労省が2021年度に導入した「要保護児童等に関する情報共有システム」に対応します。



福祉の未来 保育現場の業務改善・効率化システム

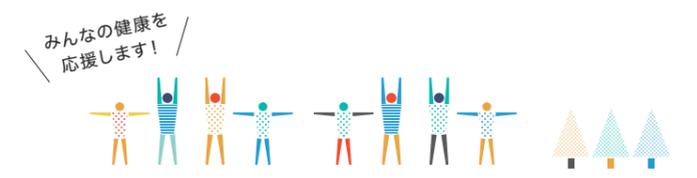
HOICT

保育士の業務負担の軽減はもちろん、自治体の管理業務においても効率化を実現する業務支援システムです。情報の共有化で、保育士と保護者、保育士同士のコミュニケーションの向上とミスコミュニケーションの防止を図ることができ、健全な保育現場づくりに貢献します。



健康な生活を応援

未病対策、病気の早期発見、感染症予防など人びとの健康をさまざまな取り組みで支えます。



社員の幸せ 健康×能力×やる気+夢

経営理念

忠恕

真心からの思いやり

忠恕(ちゅうじょ)のもと、「社会正義」「お客様第一」に加え社員への思いやりとして「社員の幸せ」を経営方針のひとつとしています。

社員の幸せの方程式
(社員の幸せ=健康×能力×やる気+夢=個人の業績)

上記方程式では、健康、能力、やる気のどれが欠けても幸せが「0(ゼロ)」になります。最初に「健康」を置き、それが最も大切であることを示します。3要素が揃い、そこに夢が加わると幸せ度は上がり業績にもつながります。

両備グループOB会「忠恕の会」

経営理念である「忠恕」を根幹に据えてグループ各社の諸活動を側面から協力する活動や、会員相互の親睦を深める活動を行っています。両備グループを卒業しても生きがいのある活力に満ちた老後をご過ごしていただきたいとの思いで誕生しました。

毎日の健康 コンディショニング施設

arklax

「歩いて健康」を支援するヘルス・コンディショニング事業を2019年3月に開設。施設名の「arklax(アルクラックス)」は、Ark「歩く」と、lax「リラックス」を組み合わせた造語です。痛みも歪みもない、今よりもっと輝く身体づくりをサポートします。

トップアスリートも利用する コンディショニングサービスを岡山中で実現

両備ホールディングスは株式会社R-body(東京都)とマネジメント契約を行ないました。岡山の新スポット杜の街グレースにおいて、未病促進、健康寿命を伸長させる「RR Conditioning & SPA(ダブルアールコンディショニング&スパ)」を開設。「Well-being(ウェルビーイング)」な街の実現を目指します。

社員と家族を健康に 両備健康づくりセンター

両備グループが大切だと考える「健康」を両備健康づくりセンターがバックアップ。35歳からの人間ドック受診対応、両備健康塾などで社員や家族の健康づくり、幸せづくりに向けたさまざまな仕組みを整え未病対策を推進します。



感染予防 ウイルス対策 深紫外線照射

両備テクノモビリティカンパニーがウイルス対策として2020年10月に「深紫外線照射ロボット」やタクシー車両専用「紫外線照射装置」を開発。一般的な紫外線より波長が短い深紫外線を照射し、車内や空気中の細菌ウイルスを不活性化させます。



地域の健康 地域健康支援システム「健康かるて」

出生～成人～老人に至る生涯の健康情報を蓄積し、自治体の保健活動を効果的に推進する安定性・継続性・拡張性の高いシステム。「地域をみる、人をつなぐ、動かす」をコンセプトに、生涯の健康情報を管理し、地域の健康増進に寄与します。



医療の未来 病院のシステムをサポート

早期胃癌AI診断システム

両備システムズが岡山大学と共同で、早期胃癌の診断において、医師の診断能力の均一化、正診率の向上、確実な治療法の選択に寄与できる、人工知能(AI)を用いた早期胃癌の内視鏡診断システムを開発し、2021年11月に発表しました。



OCS Cube-Smart

病院に求められているICT化、電子カルテ。その中で、「賢く」「優しい」を追及した、クラウド型電子カルテを開発しました。電子カルテを通じて、各医療機関とともに成長しながら、最高の医療サービスを患者様に提供します。高いセキュリティを備えた自社データセンター「Ryobi-IDC」を利用することで安全・安心な電子カルテシステムを実現しました。



女性活躍

あらゆる職種、事業において女性の能力強化育成と活躍を推進します。

女性社員の意識改革 若手女性社員育成プログラム「KiraRi☆」

両備グループの女性の個性と能力を発揮する機会を設けるために発足

両備グループ全社から自薦で集った、主に20代の女性社員が、グループの垣根を越えた横のつながりを強化し、商品やサービスの企画、開発、提案を進めています。女性社員の意識改革・モチベーション向上を図ることを目的に2012年に「KiraRi☆(キラリ)」として組織化しました。



着地型ツアーの造成



KiraRi☆大女子会 in 東京

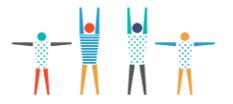


建売住宅見学



東京視察

- 〈主な活動内容〉
- ・女性社員の意識改革・モチベーション向上を図る
 - ・女性社員をキラリと輝かせる
 - ・女性社員によるキラリと光る商品・企画の開発・提案活動



女性にやさしい企業 両備グレースタクシー

子育てと両立ができるよう、勤務は日勤のみで日曜日は公休。ご家庭の予定にあわせて日ごとにシフト変更が可能。女性乗務担当社員「おもてなしスタッフ」は、優しい運転・優しい言葉・優しい接客で幅広い年齢層のお客様からの支持を得ています。(岡山両備タクシー グレースタクシーカンパニー)



働く女性の活躍支援 女性ドライバー応援企業

2016年、岡山交通が国土交通省により「女性ドライバー応援企業」に認定されました。両備グループのタクシーユニットでは、全車に防犯カメラを搭載し、営業所への女性専用スペースの設置、ライフステージに合わせた勤務形態の採用など、女性が働きやすい環境づくりを強化。女性ドライバーの採用と活躍を推進しています。



女性のキャリア構築支援 新プロジェクト発足

グループ横断の取り組みとして、女性活躍推進プロジェクトが発足しました。2027年度までに女性管理職比率10%以上を達成し、維持することを目標に掲げ、女性社員の意識改革やスキルアップ支援を行なっています。

安心して働ける環境づくり

性別、年齢、国籍を超えてそれぞれの個性や能力を活かせる環境を目指しています。

働きやすい制度整備 働き方改革とダイバーシティの取り組み、サポート体制

個人の幸せと組織の持続的な成長に向けて
多様な人材が活躍し、地域社会の役に立てることを目指して、ワークライフバランス・ダイバーシティ推進チームを立ち上げて取り組んでいます。ワークライフバランス実現に向けて、子育てやご家族の介護をしている社員へのサポート体制をとっています。さらにLGBTQ対応も進めており、誰もが働きやすい職場を目指して制度改革にも取り組んでいます。

- 両備フレキシブルワーク・プラン制度**
妊娠から子育て中、介護中でも正社員のままライフスタイルに合わせて働き方を選びキャリアを積むことができる。
- 法定を上回る育児休業制度**
お子様が3歳に達するまでの間、育児休業を取得できる。
- 企業主導型保育園との提携促進**
子育て支援の施策のひとつ。長く働き続けられる環境を整え、ワークライフバランスの実現を促進する。

両備フレキシブルワーク・プランは、育児または介護により、就業規則で定められた勤務が困難な状況にある場合に、週の所定労働時間30時間以上の勤務を条件とし、勤務日数や時間の短縮、時差出勤等をしながらも、正社員の身分を維持しながら継続して働くことのできる制度です。育児では妊娠から小学校卒業まで、介護では通算して10年間の長期間適用されるのも魅力です。



ワークライフバランスを大切に
ワークライフバランス改善の取り組みの一環として、2027年度までに有給休暇取得率50%以上を達成、維持します。

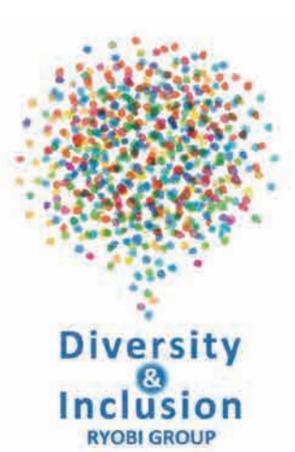


海外からの働く仲間
両備テクノモビリティカンパニーや両備ヘルシーケアでは、それぞれ整備職、介護職を中心に外国人採用を進めています。特に両備ヘルシーケアでは、日本語教育能力検定に合格し介護福祉士の資格を有する社員が日本語教育を実施しています。外国人社員の日本語能力への不安を取り除くほか、講義の内容や様子を広く社員に共有することでバイアスを取り除き、働きやすい職場づくりを目指しています。



LGBTQへの理解を深める
ダイバーシティの取り組みの一環として、2028年度までにLGBT理解増進法セミナーを管理職累計500人に対し実施します。

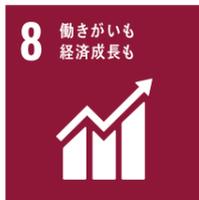
社員の生活を守る
両備グループ各社の処遇を改善するべく、2028年度までに段階的に職種別賃金水準の見直し、平均年収の底上げ、所定内賃金の引き上げを行ないます。



次代を担う人財養成 セグメント別の社員育成

次代の両備グループを担う社員の育成策として、25歳以下、30歳以下、青年重役会(JB)、現場職ごとのQC活動など、セグメント別に課題解決・提案実行型のプロジェクト活動を実施しています。なかでも青年重役会(JB)は、将来の経営幹部候補である若手社員が、次代の両備グループのあるべき姿を模索する制度です。1年間にわたって新規事業提案のほか、同業他社や異業種の視察、海外視察などの活動を行ない、経営トップへ答申しています。





8 働きがいも経済成長も

みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう

- 8-2 商品やサービスの価値をより高める産業や、労働集約型の産業を中心に、多様化、技術の向上、イノベーションを通じて、経済の生産性をあげる。
- 8-3 働きがいのある人間らしい仕事を増やしたり、会社を始めたり、新しいことを始めたりすることを助ける政策をすすめる。特に、中小規模の会社の設立や成長を応援する。
- 8-5 2030年までに、若い人たちが障害がある人たち、男性も女性も、働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする。そして、同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする。
- 8-6 2020年までに、仕事も、通学もせず、職業訓練も受けていない若い人たちの数を大きく減らす。
- 8-9 2030年までに、地方の文化や産品を広め、働く場所をつくりだす持続可能な観光業を、政策をつくり、実施していく。



11 住み続けられるまちづくりを

だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくらう

- 11-2 2030年までに、女性や子ども、障害のある人、お年寄りなど、弱い立場にある人びとが必要としていることを特によく考え、公共の交通手段を広げるなどして、すべての人が、安い値段で、安全に、持続可能な交通手段を使えるようにする。
- 11-3 2030年までに、だれも取り残さない持続可能なまちづくりをすすめる。すべての国で、だれもが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるような能力を高める。
- 11-4 世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保っていくための努力を強化する。
- 11-5 2030年までに、貧しい人びとや、特に弱い立場にある人びとを守ることを特に考えて、水害などの災害によって命を失う人や被害を受ける人の数を大きく減らす。世界の国内総生産(GDP)に対して災害が直接もたらす経済的な損害を大きく減らす。
- 11-7 2030年までに、特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などをふくめて、だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所を使えるようにする。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人が、安く安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしましょう

- 7-1 2030年までに、だれもが、安い値段で、安定的で現代的なエネルギーを使えるようにする。
- 7-2 2030年までに、エネルギーをつくる方法のうち、再生可能エネルギーを使う方法の割合を大きく増やす。
- 7-3 2030年までに、今までの倍の速さで、エネルギー効率をよくしていく。



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう

- 13-1 気候に関する災害や自然災害が起きたときに、対応したり立ち直ったりできるような力を、すべての国でそなえる。
- 13-2 気候変動への対応を、それぞれの国が、国の政策や、戦略、計画に入れる。
- 13-3 気候変動が起きるスピードをゆるめたり、気候変動の影響に備えたり、影響を減らしたり、早くから警戒するための、教育や啓発をより良いものにし、人や組織の能力を高める。



3 すべての人に健康と福祉を

だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしましょう

- 3-1 2030年までに、赤ちゃんがおなかの中にいるときや、お産のときに、命を失ってしまうお母さんを、2030年までに、産まれる赤ちゃん10万人あたり70人未満まで減らす。
- 3-4 2030年までに、予防や治療をすすめ、感染症以外の病気で人々が早く命を失う割合を3分の1減らす。心の健康への対策や福祉もすすめる。
- 3-6 2020年までに、交通事故による死亡やけがを半分にまで減らす。
- 3-8 すべての人が、お金の心配をすることなく基礎的な保健サービスを受け、値段が安く、かつ質の高い薬を手に入れ、予防接種を受けられるようにする(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)。



5 ジェンダー平等を実現しよう

男女平等を実現し すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

- 5-1 すべての女性と女の子に対するあらゆる差別をなくす。
- 5-4 お金が支払われない、家庭内の子育て、介護や家事などは、お金が支払われる仕事と同じくらい大切な「仕事」であるということ、それを支える公共のサービスや制度、家庭内の役割分担などを通じて認めるようにする。
- 5-5 政治や経済や社会のなかで、何かを決めるときに、女性も男性と同じように参加したり、リーダーになったりできるようにする。

